

報道関係者 各位

令和7年12月5日

【照会先】奈良労働局 労働基準部監督課

課長 藤本 貞之

監察監督官 島田 靖史

監督係長 上地 聖華

(電話) 0742 (32) 0204

## 働き方改革に積極的に取り組む企業に 奈良労働局長が訪問しました

～ ベストプラクティス企業との意見交換を実施 ～

奈良労働局では、「過重労働解消キャンペーン」の取組の一環として、令和7年11月7日(金)、長時間労働削減に積極的に取り組む「ベストプラクティス企業」として選定した「株式会社カイバラ」へ奈良労働局長(石崎 琢也)が訪問し、好事例となる取組の視察と意見交換を実施しました。

同社は、多能工社員の育成により業務負荷の平準化や有給休暇の取得率向上を図るとともに、タブレット端末を活用した職場環境の整備や、労働者の長期離脱を防ぐための健康経営に係る取組を行うなど、労働時間削減・働き方改革推進に積極的に取り組まれていることから、その取組内容について、奈良労働局長が同社の代表取締役(貝原 理恵子氏)をはじめとする幹部の方々と意見交換を行ったものです。

詳細は別添のとおりです。

### 【今年度の「ベストプラクティス企業」】

株式会社カイバラ (奈良県大和郡山市額田部北町1216-3)

業 種: 製造業

会 社 概 要: <https://kaibara.co.jp/>



主な取組内容: 働きやすい職場環境の整備  
会社の魅力度アップ  
健康経営

# 奈良労働局長が「ベストプラクティス企業」を訪問しました

## ～ 株式会社 カイバラの取組について ～

奈良労働局（局長 石崎 琢也）は、11月の「過重労働解消キャンペーン」の取組の一環として、他の企業の模範となるような、長時間労働の削減を始めとする「働き方改革」に資する取組を積極的に実践している企業（ベストプラクティス企業）に局長が訪問し、その取組内容について企業トップから直接説明を受けるとともに、意見交換を行いました。

ベストプラクティス企業の取組事例を広く紹介することにより、長時間労働の削減に向けた気運の醸成を図るため、今回訪問した「株式会社カイバラ」における主な取組内容をご紹介します。

訪問日時 令和7年11月7日（金）13:30～

訪問企業 株式会社 カイバラ（所在地：奈良県大和郡山市額田部北町1216の3）



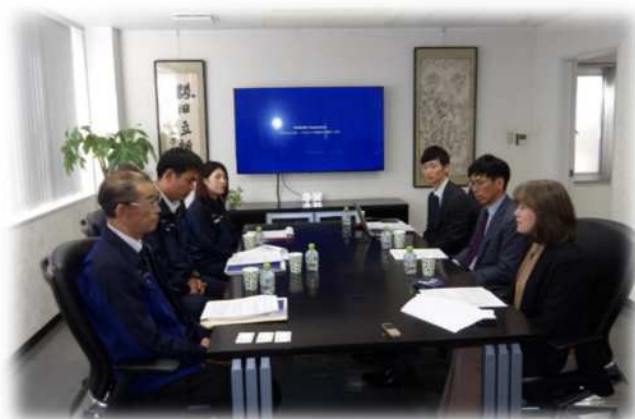
### < 会社概要 >

- 創 業 1946年
- 資 本 金 6,000万円
- 代 表 者 代表取締役 貝原 理恵子
- 従 業 員 79名（令和7年10月時点）
- 売 上 高 29.5億円（2024年度）
- 事業内容 銅合金を中心とした機能部品の製作及び販売  
各種金属部品の精密加工

## 株式会社 カイバラの経営理念と主な取組

### 社長の経営理念

- ・私たちの生きる世界は小手先で要領良く生き抜こうと思っとうまく行くような世界ではないとの思いから、人も会社も選択する時にはいつも「common good」（社会全体の利益を優先することが結局は自分の利益につながるという哲学的な言葉）を選択すべきと考えている。
- ・「common good」の選択は、従業員にとって働きやすい環境の整備につながる。



【石崎局長(左手前)と意見交換を行う貝原社長(右手前)】

### 労働時間削減に向けた取組の内容

#### 多能工社員の育成 【一人の社員が複数の業務に対応できる「多能工」の育成を推進】

- ・業務負荷の平準化：特定の社員に業務が集中するのを防ぎ、業務量の偏りを無くす  
効果：月45時間超の残業回数を大幅に削減
- ・柔軟性の高い組織：誰かが休んでも柔軟に人員の配置ができるようにする  
効果：有給休暇取得日数が大幅に増加
- ・チームワークの向上：業務を通じて社員同士の連携機会が増え、コミュニケーションが活性化  
効果：退職者の減少につながる

#### ICTを活用した職場環境の整備 【社員に1人1台タブレット端末を配付して業務を効率化】

- ・業務用コミュニケーションアプリの活用  
効果：工場内を探し回る時間や作業を止めて話を聞く時間を削減
- ・労働時間管理をサポートする新勤怠システムの導入  
効果：残業が月30時間を超えると本人と上長へ連絡が入るなど残業時間の把握が容易に
- ・二次元バーコードとアプリを活用した工具等の集中管理  
効果：工具等を探す時間の削減に加え、即時に発注・在庫管理が可能に



## その他健康経営の取組

### 熱中症対策の強化

- ・ 鋳造工場内の作業室を休憩室に仕様変更し、経口補水液や塩熱タブレット、アイス等を配備。
- ・ 鋳造作業員はウェアラブル端末を装着し、危険検知と即時休憩を可能にする体制を構築。

⇒今年の厳しい暑さの中でも社員の熱中症ゼロ

### 精密検査の促進

- ・ 人間ドックやがん検診等の検診費用を補助する福利厚生制度を導入。

⇒定期健康診断で要精密検査となった社員の受診率が100%に

＜参考：株式会社カイバラの福利厚生制度＞

<b>リフレッシュ休暇</b> 勤続年数(5・15・25・35・45年)に応じて最大5連休の長期休暇が取得可能です。その際に商品券もプレゼントします。	<b>残業時に軽食・ドリンクを支給</b> 残業時に軽食・ドリンクを無料で配布します。	<b>社員食堂</b> 会社敷地内に社員食堂を完備しています。1食275円で食事が可能です。	<b>社員旅行</b> 定期的に参加自由の社員旅行を開催します。ハワイ・オーストラリア等海外へ行くことも。	<b>誕生日プレゼント</b> 誕生日に会社よりプレゼントを贈呈します。プレゼントは6種類から選択可能です。
<b>子育て支援①</b> 出産祝い 10万円 復帰祝い 20万円 育休後の時短勤務手当 2万円など産休・育休支援が充実しています	<b>子育て支援②</b> 小・中・高校の入学祝い金(2万円・3万円・5万円)や成人祝い金(10万円)など子育て支援も充実しています。	<b>宿泊費・親睦会費補助</b> 旅行した際の宿泊費を一部補助します。(10,000円/泊) 社内の親睦会の際には会社が2,000円/人補助します。(共に年間5回まで)	<b>人間ドック・検診費用補助</b> 人間ドックや検診を受診する際に上限10,000円/回を補助します。	<b>クラブ活動費補助</b> 従業員が行うクラブ活動会費の半分会社が補助します。ゴルフクラブ・釣りクラブがあります。



〔工場視察においてタブレット端末を用いた業務効率化について説明を受ける石崎局長(写真上：右、写真下：左)〕



【取組について説明される貝原社長(右端)】

## 取組の効果

- ・ 残業時間が減少し、有給休暇取得日数が増加。



- ・ 生産性が向上し、売上げも右肩上がり。人手不足の中でも人材確保に苦労していない。



貝原社長のリーダーシップの下、労働時間の削減をはじめとした「働き方改革」に資する様々な取組を推進した結果、社員の士気の向上、生産性の向上につながり、売上げも右肩上がり、人材確保にも苦労していないという、正にベストプラクティスと呼ぶにふさわしいお話を伺うことができました。

非常に有意義な意見交換をさせていただきました。

貝原社長をはじめ、社員の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。